

新春白部

発行
日本共産党
春日部市委員会
春日部市粕壁東
6丁目7-12
電話 748-5159
FAX 748-5179

市民の声を活かした市政の実現を！

市民と日本共産党市議団が市政懇談会開催

1月27日、日本共産党春日部市議団主催による市政懇談会が新庁舎で開かれました。並木としえ、大野とし子、今尾やすのり、木下みえ子議員が参加しました。



当日は15人の市民が様々な地域から参加しました。普段くらしの中で気になっている点、市政についての疑問や要望を、テーマを絞ることなく幅広くお聞きする機会となりました。

主な内容は以下の通りです。

市民の声に寄り添った 予算の使い方を

- ・ 予算について、市民の要望に沿ったバランスの良い使い方をしてほしい。
- ・ 補聴器が高い。請願が採択されたが購入に対して市の補助はいつ始まるのか。
- ・ 公園のベンチが老朽化で座れない。担当課は予算がなく交換ができないと言われた。
- ・ 駐車場が無いため危険な公園がある。避難場所としても駐車場は必要ではないか。
- ・ 道路がデコボコで歩道も危

ない、休むベンチなどがなく外出が疲れる。

・ 市営住宅について入居者が工事をしないと住めない状態だった。市の責任で改修をするべきではないか。

・ 6月の大雨で家から24時間も出られない状態だった。冠水対策に力を入れてほしい。

・ 豊春駅から国道への道路が狭くて危険。早急に改修を。

・ 長寿を祝う会で場所や年齢などで市民を差別するようなやりかたを改めてほしい。

・ 生活困窮者への給付金の支給が遅い、職員不足なのではないか。

・ 春バスの改定で公民館に行くことができなくなった。使っていたバス停が気づかないうちに無くなっていた。

・ 春バスが春日部駅西口や医療センターに直接行かない、台数・本数を増やしてほしいという市民の要求に沿っていないのではないかと。もっと小

さなバスでも運行をして。投票日にも運行してほしい。

市民が力をあわせて 公共交通の実現へ活動を

懇談会では「声の多い公共交通の課題は学習会などで市民が力をつけて市を動かすことが必要ではないか、市民の交通権を守り実現する活動を始めよう」と市民と議員団が実現のために力をあわせること、また、補聴器・学校給食費の無償化について議会での請願採択を力として署名を進めることも確認されました。

最後に並木議員より「本日は議員団も楽しかった。このような懇談会がまた開けると嬉しいです。2月14日から3月予算議会です。皆さんのご意見を各議員が議会の質疑などでいかして、実現をめざして全力をつくします。」と挨拶して懇談会は終了しました。

＜生活相談は日本共産党へ＞

並木としえTEL737-4576 大野とし子TEL746-6136 今尾やすのりTEL761-3676 木下みえ子TEL734-4677
日本共産党市議団ホームページ <https://www.jcp-kasukabe.jp/>



能登半島地震への支援について

危機管理防災課と懇談

最高震度7の能登半島地震から1か月が過ぎました。死者が230人を超え、災害関連死も出ています。避難所では、温かい食事が十分に提供されない、段ボールベッドがなく埃を吸い込んでしまう、仕切りがなく、トイレの衛生が保てない等の課題が多々発生しています。

日本共産党は内閣府の「避難所運営指針」に沿って温かく栄養バランスのとれた食事を提供することなど、一刻も早い避難者に寄り添った支援を求めています。

大規模災害支援は、国の法律に基づき実施

日本共産党市議団は、1月22日(月)能登半島地震への市の支援について危機管理防災課と懇談しました。市として、市長公室長(危機管理防災を担当)、危機管理防災課長、主幹、主査の4名が参加しました。

春日部市も1月22日上下水道部が、志賀町に給水支援に向かいましたが、市として今後どのような支援を行っていくのかなど懇談しました。(内容は下記参照)

今回の災害は大規模災害に指定され、総務省の支援制度に基づき、国や県の指示で支援が行われることとなります。給水支援は、さいたま市、越谷松伏水道企業団に続き行うことになり

ました。

1月29日から2月5日まで危機管理防災課の職員が、避難所支援のために七尾市に派遣されます。国からの指示があれば何時でも提供できるように物資の準備を行い、医療センターの看護師の派遣もできるようにしています。

1月18日から市長を先頭

に「被災地支援対策本部会議」を立ち上げ、市長公室長をはじめ12の部署の部長が今後の対策を協議しホームページに掲載しています。被災地支援の募金箱は、市役所総合案内、福祉総務課、庄和総合支所、武里出張所、中央公民館、地区公民館に設置されています。

<懇談内容>

能登半島地震に対する春日部市の支援について

- ①現在春日部市がおこなっている能登半島地震に対する支援の内容について教えてください。
- ②大規模災害が起こった際の支援等について、市として取り決めていることがあれば教えてください。
- ③他市において、能登半島地震に対する支援内容をホームページで公表するなど市民に明らかにしています。春日部市も支援内容を明らかにしてください。また、市が備蓄している物資等(段ボールベッドや簡易トイレなど)を早急に現地に送るなど可能な限りの支援をおこなってください。



市立医療センター TEL735-1261(夜間毎日、土・日・祝日)内・外科系 小児救急電話相談 #7119
 2/ 4(日) (内科系) 大川医院 備後西3-1-5 TEL734-3121 (小児科系) 一ノ割クリニック
 備後東1-28-22 TEL731-1771 (外科系) 杉浦眼科・豊春分院 上蛭田259-2 TEL754-2333
 2/11(日) (内科系) いまいクリニック 上蛭田25-1 TEL755-7676, (小児科系) 神田医院
 上蛭田127-1 TEL754-0854 (外科系) 渡辺クリニック 上蛭田128 TEL754-3666